令和6年度 新宿区地域公共交通会議（第4回） 議事概要

日時 令和6年12月19日（木） 16:00-16:55

場所 新宿ファーストウエスト 3階BC会議室

1 開会

出席者・欠席者の確認、委員過半数出席の確認、配布資料の確認を行った。

2 議題

以下の事項について、事務局が資料を用いて説明を行った。

- (1) 新宿駅周辺循環型バス（新宿WEバス）の今後の方向性について
- (2) 新宿WEバスの運賃の変更について（団体特別割引通勤定期乗車券の追加及び廃止）
- (3) 令和6年度協議運賃分科会（第2回）での協議結果について（報告）
- (4) 新宿WEバスにおける運行計画の見直し（ダイヤ改正）について

会長

今説明があった内容について、議論したいと思います。ご意見・ご質問がある方は挙手をお願いします。

質疑1

ダイヤ改正をした後、定期を使わないで正規運賃が払われた場合の運送収入見込みについては、検討等されているのでしょうか？

事務局応答

特に収支については計算をしておらず、減便により運行に支障をきたすボーダーラインを検証したというところでは。

質疑2

現在、通勤定期券を利用されている企業はどの程度いるのでしょうか？

事務局応答

一社のみとなっています。

会長

それでは、議決をさせていただきます。交通会議設置要綱第六条第四項におきまして、交通会議は分科会等が検討及び協議した事項の結果を尊重するという規定がありますので、このことを踏まえた上で議決に参加していただくようお願いをいたします。

議決の方法は、交通会議設置要綱第五条第七項に基づき、全会一致を原則とします。議論を尽くしても全会一致に至らないときは、会長の提示する議決方法によることとなっております。

なお、本件については、提案者である京王電鉄バスの三浦委員、AIオンデマンド交通に関係する地区の代表である下落合町会の堀内会長を除外して議決を取る形とさせていただきます。

それでは、新宿WEバスにおける運行計画の見直しについて賛成の方は挙手をお願いいたします。

【委員全員が挙手】 全会一致で了承されたものとしまして、資料4-5の証明書の案を取ることとさせていただきます。

また、道路運送法に基づく協議が整っていることの証明書について、軽微な文言の修正等は会長に一任させていただきますと思いますが、よろしいでしょうか？ **【委員全員が了承】** ありがとうございます。

それでは議事につきましては以上です。

3 報告事項

以下の事項について、最初に、関東バス(株)から報告があり、次に事務局が資料を用いて説明を行った。

- (1) AIオンデマンド交通「にゃんデマンド」実証運行に関する検証等の項目（案）について

会長

只今説明があった内容について、議論したいと思います。ご意見・ご質問がある方は挙手をお願いします。

質疑3

まずは11月21日の開業ということで、関係者の皆さんがご尽力されたことに敬意を表したいと思います。

一点目として、開業前になります。非常に現場が混乱をしたということをご報告させていただきたいと思います。特に利用者の方にご迷惑をかけないように準備をするのが鉄則だということで、関係者が一体となって準備をする必要があるかと思いますが、なかなかうまくいかなかったという点が反省点となります。それで、いまだにですが、AIも新宿といった特に都心のエリアでは、ミーティングポイントが逆になったり、あるいはAIが導いたルートが非常に狭いところ、また、遠回りしてしまうようなケースが多々あり、非常に現場が混乱をしているような状況ですので、これについては一回総括をさせていただきたいと思います。

二点目として、資料に書いてある妥当性というところですが、先ほど関東バスさんから1日の平均利用者数の報告がありましたが、このデマンド交通が新たな交通として役に立っているのか、確かに利用者の方がいらっしゃるので、増えていけば採算性という話になるのかもしれませんが、その辺について区の考えを聞かせていただきたいと思います。というのも、本当に運転手不足が加速しており、路線バスの減便、廃止をせざるを得ないような状況になっています。であるならば、以前、意見として挙げたようにタクシー券を配るなど、別の方向にシフトしていくべきかと思っています。この間、東京バス協会の方とお話をさせていただき、運転手の数が増えていないので、増やさなければ新しいことはできないため、今、バス協会の方は必死になって取り組んでおられますが、なかなかすぐには増えないといったところがありますので、これについても、一度議論していただきたいと思います。

最後三点目ですが、令和7年度以降も実証運行をするのでしょうか？質問にお答えいただきたいと思います。

事務局応答

まず一点目のAIが遠回りのルートを示したり、現場の混乱と、お客様への対応、これについては関東バスさんや委託されている建設技術研究所さんとしてしっかり現状把握しながら努力できることについて考えていきたいと思います。

二点目の妥当性につきまして、今年度については運行期間が短いので評価をしないと説明させていただきましたが、事前と事後のアンケート調査も含めて、得られたものの中から妥当性が導ければいいと思っています。一方、運転手不足の話は、今回の新たな地域交通の導入以前にこの会議の中でいろいろお話を聞いており、また、全国的な話だと認識しております。以前の会議でも一度お話ししましたが、この運転手不足等々、運行事業者さんが抱えている課題について、例えば行政ができることがあるのかをアンケート調査を行ったうえで議論させていただきたいと考えておりますので、今準備しているところです。いろんな自治体の支援の取り組みも調査研究しているところですので、引き続きこの問題は区内の交通事業の問題としてとられておりますので、いろいろ議論できればと思っております。

それから最後に来年度の実証運行についてです。これについては、関東バスさんが運行事業者という中で、ご判断があるかとは思いますが、ですので現時点で継続するかしないかということは、お答えできない状況ですが、区としては、新たな地域交通ということで将来、区民の方のしっかりとした足になる、とっかかりを作りたいという、基本理念は変わりませんので、そうしたものにつながるよう考えていきたいと思っています。

会長

最終的にどういう形が望ましいかというのはこれから決まることなので、なし崩しに今の形がそのまま続いていくという話ではありません。これは、実証実験を行う中で決め込んでいく話になっていくと思いますし、それからある程度、評価をしていくためには、実証実験の期間など評価できるだけのものが必要だと思いますので、今年度の部分を評価しないという話ですが、そうであるならば来年度きちんと評価ができるような仕組みを作って、継続し、その上で、この方式がこの地域に適しているものなのか、評価をきちんとし

ていく必要があるかと思えます。

もう一点、実際使われているキャラバンとかハイエースのような車両は、特に単色のものはどこでも、たくさん走っています。そういう意味では、地域の中で、あれが今度始まったAIオンデマンドだと思ってもらうためには、もう少し目立たせる必要があるんだというふうに思っています。例えばですが、フロントのところにかんにゃんをもう少し大きく貼るとか、頭のところに関東バスの赤い帯を巻くとか、その辺をいくらでも走っているワンボックス車と差別化する必要があるかと思えますので、私からの意見として申し上げておきます。

事務局応答

関東バスさんと今回の実証運行にあたり話し合ってきました、その中で目立つようにというのは見え方だけではなく、AIオンデマンド交通という名前がなかなか浸透しないだろうといったところで、今回にゃんデマンドという愛称を作りました。今後も、引き続き、会長をはじめ、皆さんからご意見をいただきながら分かりやすい乗り物を目指していきたいと思えます。

副会長

今年は評価を行わないということではありますが、サービスの面は中では振り返りをいただきたいと思えます。待ち時間がどうだったか、車両もそもそも乗り降りしやすいかどうかなど。

デザインのところもですが、日本でこういったサービスがいろいろなところでやられてますけれど、いいサービスであれば利用者が増えるということも、地域によって特性が違いますが、数多くの知見があります。当たり前ですが交通サービスと利用者数は直結してくるので、サービスはどうだったかということは、中の振り返りでは少しやっていただければいいかなと思えます。

最近、大阪に行く機会があり大阪メトロさんとか南海バスさんは交通事業者自らが街のど真ん中でデマンドのサービスをされている。もちろん危機感と同じで、運転手はいないけれど、サービスを下げたらどんどん利用者が減っていってしまう。それを避けたいということで、新しいサービスを提供し、業界をこう変えていきたいということで、必死になってやっている。この前も堺へ行ってきましたが、いろんな人が乗ってきて、このおかげで外出できるっていう生の声を聞いて、本当にありがたい話、たくさんそういう声も出てくるので、やっぱりやることはやっていけるといいかなと思えます。

4 その他

事務局

その他ということで、本日ご質問ありました運転手不足の問題については、前回もお話ししましたとおり、アンケート調査のようなものから入って、皆様がどういった課題を抱えているかといったところを、ご意見をまとめて、その上で一度、区としてどういうことが今後できるのかといった意見の場を設けたいと思っております。時期は未定ですが、なるべく早い時期にやりたいと思えます。

それからもう一つ、これも前回の交通会議でお話ししましたが、バス停留所のベンチの設置について、区議会の方からも要望が来ており、すでにもちろん設置してあるところもありますが、その辺の現状と今後何かさらなるものができるかどうかということをお話できればと思っております。これも事前に少しアンケート等で現状を把握する機会を設けたいと思っております。

5 閉会

事務局

次回の交通会議の日程につきましては、新年度の4月以降で予定をしておりますので、また日時等々、開催が決まりましたら皆様の方に通知をさせていただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

本日の地域交通会議を閉会したいと思います。ありがとうございました。